



ぞうぐみだより



2026年2月2日 発行
社会福祉人 尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ2

2月3日(土)は節分の日です。節分は「邪気を払い、春を迎える準備をする日」として、昔から立春の前日に行われてきました。年の数だけ豆を食べると、一年間健康で幸せに過ごせると言われています。園でも、子どもたちの健康を願いながら節分の集会を行います。鬼を退治するだけでなく、心の中の弱い気持ちや困りごとを追いつし、元気に春を迎えられるようにという願いを込めています。また、ただ「鬼=こわい存在」ではなく、困っているお友だちに声をかけること、みんなで協力してやり遂げることなど、就学に向けた大切な姿も意識しながら活動を進めています。優しい心を持った“よいオニ”が住み続けられるように、子どもたちと一緒に考える時間も大切にしています。当日は、子どもたちが工夫して作り上げたオリジナルの鬼のお面と、豆に見立てた道具を使って豆まきを楽しみます。自分だけの面をつけて元気いっぱい鬼退治をする姿が今から楽しみです。一年間、みんなが健康で笑顔いっぱい過ごせますように。

2月

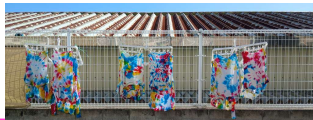
保育のねらい

- 冬の健康的な生活に必要な習慣を身に付け就学へ向けて自信や期待感をもって生活する。
- 年下の友だちを思いやり、必要な手助けを進んで行なう。
- 就学への期待や不安を保育者に共感され、自信を持って生活する。



【楽しかったお楽しみ会】

先日の行事では、ご家族の温かい声援に包まれながら、大勢の人の前でドキドキしつつもワクワクした体験を通して、子どもたちは大きく成長し、自信につながったことと思います。Tシャツ準備へのご協力もありがとうございました。園での生活も残り少なくなってきましたが、子どもたちが毎日をのびのびと楽しみ、心に残る思い出をたくさん作れるよう、これからも一緒に考えながら過ごしていきたいと思っています。



【卒園記念製作】

今年度もいよいよ卒園が近づいてきました。子どもたちが毎日を過ごしてきたこの園での思い出を、形として残せるように、今年も「手作りシーサー」の制作に取り組むことになりました。

今年も、地域のシーサー工房の方を講師としてお招きし、本格的な焼き物づくりを体験します。泥のこね方や道具の使い方を教えていただきながら、子どもたち一人ひとりが自分だけの表情をもつシーサーを作ります。どんなシーサーが生まれるのか、今からとても楽しみです。

完成したシーサーは、子どもたちが毎日通った園の壁に飾り、登降園の際にみんなの安全を見守ってくれる“守り神”として残していく予定です。卒園後も、子どもたちの成長をそっと見守り続けてくれる、世界にひとつだけの記念になります。

2月10日(火)シーサー作り当日は、泥を使った作業となりますので、汚れてもよい服装での登園をお願いいたします。焼き物の工程ではどうしても泥がつくことがありますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。子どもたちにとって、卒園前の特別な思い出となるよう、楽しい時間を一緒に過ごしていきたいと思っています。

【レゴコーナーから広がる子どもたちの世界】

そう組の部屋には、子どもたちが大好きなレゴ専用コーナーができあがり、毎日大にぎわいです。レゴブロックの種類が増えたことで、子どもたちの想像力はますます広がり、気づけば「ここはレゴランド？」とってしまうほどの大きくて立派な作品が並ぶようになりました。

作るたびに新しいアイデアが生まれ、昨日より今日、今日より明日と、作品はどんどん進化していきます。時には、せっかく作ったものが壊れてしまい、悔しそうな表情を見せる姿もあります。それでも、友だちと声を掛け合いながら「もう一回つくろう」「ここはどうする？」と気持ちを切り替えて取り組む姿には、頼もしさを感じます。

一人では思いつかない形も、友だちと力を合わせることで形になり、完成したときの達成感はひとしおです。レゴコーナーは、ただ遊ぶだけでなく、協力する楽しさや、挑戦する気持ちを育む大切な場所になっています。

これからも、子どもたちの豊かな発想と仲間とのつながりが、どんな作品を生み出していくのか楽しみです。